



碧南ロータリークラブ週報

第3105回例会 令和6年9月11日(水)

- 会長 鈴木 泰博
- 幹事 大竹 密貴
- 会場監督(SAA) 長田 康弘

2024-2025 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 牧野勝俊・杉浦邦彦・岡本耕也

● 斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のお弁当

大正館

● 本日のお客様

株式会社はちどり 代表取締役 石原慧子様

会 長 挨 拶

失礼致します。本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

まだまだ暑い日が続きますので、体調には十分に気を付けていただきたいと思います。

先週の9月4日にロータリークラブのゴルフが開催されました。ゴルフ部会の幹事の方々には大変お世話になり、ありがとうございました。次回は11月14日にライオンズクラブ主催の3クラブゴルフになっておりますので、多くの方々に出席していただければ幸いです。

今日は私事ではありますが、碧南での交通安全活動についてのお話を少しさせていただきたいと思います。碧南には新美さんが会長をされている碧南高浜安全運転管理協議会や角谷さんが会長をされている愛知県トラック協会西三支部碧南部会など他にも沢山の会がありますが、私の所属している碧南交通安全協会についてお話しさせていただきます。

交通安全協会は企業の方々と交通指導員として一般のボランティアの方々と構成されております。交通指導員の活動については春、夏、秋、年末の交通安全運動、次回は秋の運動として9月21日から30日まで実施されます。毎月10、20、30日の交通事故死ゼロの街頭立哨



鈴木泰博会長

監視活動、毎月10日の横断歩道の日キャンペーン、年末年始の飲酒運転根絶キャンペーンなどがあります。横断歩道の日は、以前は11日に実施されておりましたが、2年前から10日に変更されております。

昨日も大浜地区のバローの近くにあるおとわ遊具の前の横断歩道で活動を行いました。ただ、活動していても横断歩道の日を知らないドライバーの方が多くて、まだまだ知名度が低いなあということを感じておりますが、愛知県が交通死亡事故ワースト1を返上できたのは、他県よりも早く横断歩道での歩行者優先の取締りをして、ドライバーのマナー向上を進めていったことが1つの要因じゃないかなあと私は考えております。横断歩道で止まる意識やいろんな所をよく見て運転することが愛知県は得意ではなかったような気がしますので、そういったことを行うことによって交通事故を減らすことができたのかなあとと思います。これを続けていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

6月には市長様と警察署長様を迎えて、交通指導員服装点検と委嘱式を開催して、臨海公園の角にある交通安全観音建立式典を当クラブの加藤さんをお願いして開催しております。市の行事への協力としては花火大会、元気ッス！へきなん、大浜てらまちウォーキング、きらきらウォーク、駅伝大会なども行っております。他には地区の盆踊りや祭礼などにも要望があれば協力しております。

ロータリーメンバーで私を含め4名の方が交通指導員としてボランティア活動に従事していただいております。もし興味のある方は私までご連絡いただければすぐに入会していただけますし、お知り合いの方で興味ある方が見えたら、いつでも教えていただければ碧南交通安全協会に入ってくださいような形を取らせていただきますので、よろしくお願い致します。

次週は休会ですが、24日の火曜日はガバナー公式訪問になりますので、皆さんご出席をよろしくお願い致します。

本日もよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第3回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 9月18日(水)は休会でございます。次回の例会は9月24日(火)になりますので、よろしくお願い致します。



大竹密貴幹事

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 60 名 (内出席免除者 14 名の内出席者 9 名) 出席者 41 名	
出席対象者 41/55 名	出席率 74.55%
欠席者 19 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

- 鈴木 泰博君 日曜日、海に行ってきました。木村さんにお世話になりました。
- 山中 寛紀君 昨日、超久しぶりに高浜ロータリーの例会にメイクアップで参加させて貰いましたが、衣浦グランドではなく分かりにくい会場にて、さらには大変狭い小会議室での例会で、我々碧南RCとの違いの大きさに驚いた次第です。
- 小林 清彦君 本日の卓話講師、石原慧子さんを紹介させていただきます。
- 石川 昌樹君 長男の所属する、Gボーイズの初MV (ネバーランド) が、ユーチューブにて配信されました。視聴回数がのびなやんでいますので、よろしければご視聴下さい。
- 岡田 竜治君 昨日、長男が務める消防学校訓練演習会が行われ、6ヶ月の公務を無事来週終えれそうです。

卓話

『『少子化・車離れ・自動運転』に負けない教習所生き残り戦略』

株式会社はちどり 代表取締役 石原慧子様



石原慧子様

こんにちは。

株式会社はちどりの代表をしております石原と申します。今日は碧南ロータリーさんにお招きいただき、ありがとうございます。ロータリーの卓話はいつも本当に緊張するんですが、特に「時間を少し前に終わってください。」と必ず言われるので、それが一番のプレッシャーです。今日もちゃんとお約束通りに終わるように進めてまいりたいと思います。また、色んなロータリーにお呼びいただくと、私は密かにニコボックスの時間を楽しみにしております。今日も皆さんがクスッとされる瞬間があり、凄く親しみを感じ、一つ一つの内容が素敵だなあというふうに思ってお見させていただきました。

今日いただいたテーマは「『少子化・車離れ・自動運転』に負けない教習所生き残り戦略」です。教習所業界には少子化、車離れ、自動運転という3つの大きな課題があります。そん

な中でどんな経営をしているかということを紹介させていただきます。

まず、自己紹介について特にスライドはないんですけども、私は女性経営者として今も小学校 2 年生の娘を育てながら会社経営をしております。祖父が創業した会社ではあるんですけども、女性で後を継いで女の子しかいない家なのかなあとと思われるんですが、そうではなくて、私は 3 兄弟の真ん中で兄と弟がおります。我が家の子育ては子供の頃から両親に男も女も関係なく社会で活躍する時代が来るというようなことを言われて育ってきました。

そして、自分の色々な転機となったことがあるんですが、育ったのは小学校 5 年生まで安城市でした。小学校 5 年生の頃に母親が倒れまして、私は三重県の他人の家で 2 年間育てられました。小学校を卒業しまして、名古屋市内の中学校に通うことになったんですけども、当時は母親が病気だったので家におらず、思春期でありましたので、中学校 2 年生、3 年生はほぼ学校に私は行っていません。成績がない中学生というのを過ごしてまいりました。そんな中で、どうやって自分は生きていけないといけないのかと考えまして、母親から「経済力がある大人になりなさい。」とよく言われて育ってきましたので、何とか高校、大学へと進学し、現在に至っております。

さて、安城市の概況ですが、現在は人口が 19 万人を超え、年々増加しております。しかし、他のエリアに比べては緩やかではありますけれども、全国的に少子高齢化が進んでおり、若年層の減少は運転免許取得者数にも影響を与えております。私がこの業界に入った時にある友人から「自分の仕事が世の中からなくなったら何が残る？」と言われていました。当時は何を言っているんだろうと思っていたのですが、現在は少子高齢化、車離れ、自動運転などが問題として浮上しております。

次に株式会社はちどりについてですが、元々祖父は安城市で車のホイールを作る会社の創業者で、昭和 40 年代に安城市の中で免許を取りたい人がいても自動車学校がないということで、祖父に声が掛かり、自動車学校ができたという経緯がございます。

学校の特色ですけども、コアラのマークの自動車学校です。何でコアラなのかをよく聞かれるんですけども、18 歳になった時に免許を取るなら株式会社はちどりへって思ってもらう上で、人間の視覚は四角よりも丸いものに反応するようにできているということと、安城市はオーストラリアと姉妹都市ということでコアラ、その 2 つを足して丸の中にコアラというロゴを作りました。また、安城市はデンマークとも姉妹都市ということで、デンマークのデザインを取り入れたような内装にしております。

そして、コンセプトとして、日本で一番事故のないまちづくりを目指しております。私たちの目指す本質というのは、ドライバーを作るのではなくて、交通事故のない世の中を作っていくことが目的です。なので、運転免許に依存しない新たな事業も展開しております。それでもまだまだ運転免許の制度はありますので、私たちの学校の特長としては、担当制を取り入れて、褒めて伸ばすということを大切にしております。

自動車学校ではオンライン学科の導入や短期間で免許を取得できるプログラムを提供するなど、新しい取り組みを行っております。また、教習所にとどまらず、企業向けの安全運転コンサルティングやドローン教習所なども展開しており、さらに子供向けの運動教室や英語環境での学童保育も運営しております。

私たちの会社「はちどり」の名前の由来は、南米に伝わる物語に登場するハチドリから取っております。森が燃えている中、小さなハチドリが湖から水を運び、少しでも火を消そうと努力する姿が描かれております。このハチドリのように小さな力でもできることを積み重ねることが大切という思いで、私たちの会社名としております。

後、動画がきれいに流れず失礼致しました。お隣の市でありますので、近くにお立ち寄りの時はお顔を出していただければ幸いです。

今日はありがとうございました。

次回例会案内

令和6年10月2日（水）

クラブフォーラム「米山記念奨学事業について」

地区米山記念奨学委員会 委員 手島嘉宏氏、米山学友